



記者発表資料

常総国道事務所発注工事において、「自治体実績評価型（単独）」を試行し、「施工箇所が点在する工事の積算」、「余裕期間制度（フレックス方式）」、「地域密着工事型」、「難工事施工実績」を採用します。

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策等を試行・採用しております。

今回発注する下記対象工事は、以下について試行・採用します。

【対象工事 ※工事の内容については、別添の工事概要を参照して下さい。】

1. R3 東関東道島須地区跨道橋下部工事（公告日7/28）：不調・不落対策等①、③、⑤
2. R3 東関東道潮来行方地区改良工事（公告日7/29）：不調・不落対策等①、②、③、④、⑤
3. R3 東関東道長野江地区外跨道橋下部工事（公告日7/30）：不調・不落対策等①、②、③、⑤

【不調・不落対策等の試行・採用】

①「自治体実績評価型（単独）」

関東地方整備局発注工事の実績が無い（少ない）企業であっても、自治体（都県政令市）の工事成績等により評価できる方式を試行します。

②「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

③「余裕期間制度（フレックス方式）」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことが出来るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

④「地域密着工事型」

地域に根ざし住民に信頼が置かれていることが円滑な工事、良質な施工に繋がると考えられる場合、地域精通度・地域貢献度を評価項目に加えて評価を行う方式を採用します。

⑤「難工事施工実績」

関東地方整備局の発注した工事において「難工事指定」された工事のうち、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引渡し完了した施工実績の有無について、評価を行う方式を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所 電話029-826-2040（代表）

副所長(技) 木村 佳夫 工務課長 高橋 勉

とうかんどう します ちく ことうきょう かぶ こうじ
1. R3 東関道島須地区跨道橋下部工事（公告日 7 / 28）

《工事概要》

- (1) 工事場所：自) 茨城県潮来市茂木 至) 茨城県潮来市清水
(2) 工 期：契約の翌日から令和5年3月31日まで
(3) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価型I型）
(4) 工事種別：一般土木工事C+B
(5) 工事内容（概要）：

跨道橋	2橋
橋台工	4基
既製杭工	28本
橋台躯体工	
鉄筋	約100 t
コンクリート	約830m ³
仮設工	
土留・仮締切工	1式

(6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「自治体実績評価型（単独）」

関東地方整備局発注工事の実績が無い（少ない）企業であっても、自治体（都県政令市）の工事成績等により評価できる方式を試行します。

③「余裕期間制度（フレックス方式）」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことが出来るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

⑤「難工事施工実績」

関東地方整備局の発注した工事において「難工事指定」された工事のうち、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引渡し完了した施工実績の有無について、評価を行う方式を採用します。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書 交付 : 令和3年7月28日（水）
○競争参加資格申請書 提出期限 : 令和3年8月5日（木）
○競争参加資格確認資料、入札書及び工事費内訳書 提出期限 : 令和3年8月26日（木）
○開札日 : 令和3年9月16日（木）

2. R3 東関道潮来行方地区改良工事（公告日 7 / 29）

《工事概要》

- (1) 工事場所：自) 茨城県潮来市^{いたこ ふったか}古高 至) 茨城県行方市^{なめがた なみき}次木
- (2) 工 期：契約の翌日から令和4年10月17日まで
- (3) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価型Ⅱ型）
- (4) 工事種別：一般土木工事B+C
- (5) 工事内容（概要）：
- | | |
|-------------|-----------------------|
| 掘削 | 約72,000m ³ |
| 路体盛土 | 約7,700m ³ |
| 残土処理 | 約38,500m ³ |
| 法面整形 | 約13,800m ² |
| 地盤改良 | 171本 |
| 切廻し道路、工所用道路 | 8箇所 |

(6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「自治体実績評価型（単独）」

関東地方整備局発注工事の実績が無い（少ない）企業であっても、自治体（都県政令市）の工事成績等により評価できる方式を試行します。

②「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

③「余裕期間制度（フレックス方式）」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことが出来るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

④「地域密着工事型」

地域に根ざし住民に信頼が置かれていることが円滑な工事、良質な施工に繋がると考えられる場合、地域精通度・地域貢献度を評価項目に加えて評価を行う方式を採用します。

⑤「難工事施工実績」

関東地方整備局の発注した工事において「難工事指定」された工事のうち、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引渡し完了した施工実績の有無について、評価を行う方式を採用します。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書 交付 : 令和3年7月29日（木）
- 競争参加資格申請書 提出期限 : 令和3年8月19日（木）
- 競争参加資格確認資料、入札書及び工事費内訳書 提出期限 : 令和3年9月13日（月）
- 開札日 : 令和3年9月16日（木）

とうかんどう な が の え ち く ほか こどうきょう かぶ こうじ

3. R3 東関道長野江地区外跨道橋下部工事（公告日 7 / 30）

《工事概要》

- (1) 工事場所：自) 茨城県行方市長野江 至) 茨城県銚田市野友
- (2) 工 期：契約の翌日から令和4年11月30日まで
- (3) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価型 I 型）
- (4) 工事種別：一般土木工事 B + C
- (5) 工事内容（概要）：
- | | |
|--------|----------------------|
| 跨道橋 | 5橋 |
| 橋台工 | 10基 |
| 既製杭工 | 68本 |
| 橋台躯体工 | |
| 鉄筋 | 約83 t |
| コンクリート | 約1,500m ³ |
| 仮設工 | |
| 工事用道路 | 1 式 |

- (6) 不調・不落対策等の試行・採用

①「自治体実績評価型（単独）」

関東地方整備局発注工事の実績が無い（少ない）企業であっても、自治体（都県政令市）の工事成績等により評価できる方式を試行します。

②「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

③「余裕期間制度（フレックス方式）」

契約期間内であるが、工期外であるため、受注者は監理技術者等の配置が不要であり、工事に着手してはならない期間のことです。工事着手以外の工事のための準備は、受注者の裁量で行うことが出来るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる制度です。

⑤「難工事施工実績」

関東地方整備局の発注した工事において「難工事指定」された工事のうち、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引渡し完了した施工実績の有無について、評価を行う方式を採用します。

《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書 交付 : 令和3年7月30日（金）
- 競争参加資格申請書及び資料 提出期限 : 令和3年8月23日（月）
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和3年9月14日（火）
- 開札日 : 令和3年9月17日（金）